

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

August 2025

Écoutez Bien Vol.42 No.485

8

創立100周年 国立音楽大学





ジバーカフェ (JIBAR CAFÉ)



キッシュプレート スープは週替わりで、大盛り無料

地元産野菜が食べられる

なんといっても、野菜がおいしい。
お隣の「のーかるバザール」から、
野菜ソムリエ厳選野菜をいただけます。
たっぷりの野菜プレートに乗ってくるのは、
地元パン屋BAKUBAKUの五穀パン。
加えてAdam's awesome PIEのキッシュだったり、パイだったり。
ジバーカフェだからできる地元コラボメニューで、おなかいっぱい!
ランチは安心食材で栄養補給。ジバーカフェがおすすめです。



全粒粉唐揚げプレート 大きな唐揚げが魅力



サーモンの香草焼きプレート



暑い日にはこれですよね。ブルーベリースムージーと、とびしまレモンスカッシュ
この日のケーキは、ココアケーキ(手前)とチーズケーキ かき氷もありますよ

薬膳カレー(きのこorチキン)



ジバーカフェ

立川市柴崎町3-9-2 コトリンク1F(柴崎3丁目交差点すぐ)

営業時間 10:30~19:30

ランチ 11:30~15:00(LO 14:30)

定休日 不定休

Instagram



創立100周年に向けて 未来の音楽を担う

国立音楽大学学長 梅本 実氏

1926年創立。1966年より立川市に学舎を設けた国立音楽大学。

2026年に創立100周年を迎える。

その陣頭指揮に立つ学長に話を聞いた。



建設時にやむなく伐採されたシンボルツリーを使用しています。国立音楽大学創立100周年記念事業の1つです。

——国立音大は2026年に創立100年を迎えるそうですね。何か大きなイベントをなさるのですか。

梅本 国立音楽大学創立100周年記念事業として「くにおん100フェス!」を含む音楽イベントを2024年から開催しています。100のイベントでカウントして機運を高めて、みんなで盛り上げていこうとしています。音楽の素晴らしさを届けていきたいです。

——「くにおん100フェス!」とは。

梅本 100周年記念事業のメインイベントとして行われるもので、2026年6月26日には、「Ensemble

——4月に催された「くにおんフォルテピアノ」お披露目コンサートにうかがって本当に良かったと思いました。音は聴かないとわかりませんから。聴いて初めて、モーツァルトが生きた時代のサロンというのが想像できました。

梅本 それは良かったです。「くにおんフォルテピアノ」の譜面台や椅子には、新校舎

of Memories」と「Grand Gala」を。幕開けはクラシックの殿堂サントリーホールから始めます。ソロ、オーケストラ、オペラアリア、合唱、プラスなど、「くにおん」の歴史と伝統を体感できる演奏会になっています。

——昔は暮れの第九と言えば、合唱は国立音楽大学でしたよ。サントリーホール、

写真提供: 国立音楽大学



すばらしいですね。

梅本 ええ。まさに、合唱は第九の第四楽章です。サントリーホールも40周年で、ともに節目の年を迎えています。国立音楽大学のレジェンドの方々も出演します。今まで日本の音楽界を支えてきたような方々ですね。70代、80代、90代。

——すごい。前学長の武田忠善先生も全然お変わりなくお元気ですものね。

梅本 ええ、武田先生とも一緒にやります(笑)。そして27日、二日目は「Campus Harmony」を。学生主体で本学の大ホール、小ホールを使って、小さいお子さんから大人まで楽しめる体験型の演奏会をやろうと企画を練っています。本学にはそういった音楽のアウトリーチの専門家がいます。

——なるほど。

梅本 三日目の28日は、立川ステージガー



ネットでも公開しています

梅本 実氏

東京藝術大学、同大学院修士課程器楽専攻(ピアノ)修了。ドイツ・デットモルト音楽大学卒業。帰国後東京、札幌、福岡各地でソロリサイタル開催。札幌交響楽団、九州交響楽団と共演。また、ドイツ歌曲の共演ピアノistとして活発な活動を続けている。平成14年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。2023年4月学長に就任。

100th Anniversary 国立音楽大学
Kunitachi College of Music

写真提供: 国立音楽大学



デンで「Circle of Music」を。本学卒業生でもあり、J-POP界の先導者として活躍する音楽プロデューサー武部聡志さんを総合演出に迎えて、各界で煌めくスター卒業生たちが参加します。

——武部聡志さんは、立飛の100周年「たちフェス」のプロデュースもされていました。素晴らしい企画ですね。

梅本 スクリーンミュージックの世界で活躍する富貴晴美さんやジャズピアニストの山下洋輔さんをはじめ、クラシックの基本を学んで活躍している多種多様な卒業生が大勢います。そういった方々とのコラボステージも計画しています。

——本当に各界に国立音大出身者がいらっしゃいますが、自由な校風がそういった成功者を生み出しているのでしょうか。

梅本 校風、それも1つあると思います。あとはやはり基本を大事にしているということが大きい。基礎をしっかりと2年間身につけて、あとの2年は応用ですが、どのジャンルを選んだとしても基本がしっかりしていると生きます。例えば声楽。2年間の

基礎がありますから、発声がしっかりしていてミュージカルの世界でも活躍できるのです。大学というのは巣立っていくための土台作りですから、そこで基礎を固めていくことで、いくらでも変化していける自分になっていくのではないのでしょうか。

——演奏家として成功していく方々以外には、音大卒業生にはどんな道が開けているのでしょうか。

梅本 演奏家としての需要ばかりではありません。大学院や留学など進学をする人、教育者の道を選ぶ人がいます。また、音楽を4年間やってきたということは、企業で働く上でも役に立ちます。コツコツと何か一つの目標に向かって努力する計画性であるとか、この日までに仕上げるスケジュール管理や粘り強さとか。1対1のレッスンなので、やはり目上の人とも触れ合うわけですから礼儀などの対人関係、コミュニケーション能力といった面が自ずと培われていきます。

先ほどお話しました「くにおん100フェス!」を含む「くにおん」および附属各校による「100のイベント」をカウントアップしながら、多くの方に本学の歩みと音楽の力を、感謝を込めてお届けしたいと思っています。まずは地元立川の皆さまに、ぜひご参加いただきたいと思っています。



写真提供: 国立音楽大学



ArCS III スタート!

[北極域研究強化プロジェクト]

文部科学省に採択された事業

2011年度開始のGRENE北極気候変動研究事業、ArCS、ArCS IIに続く北極域研究強化プロジェクト。

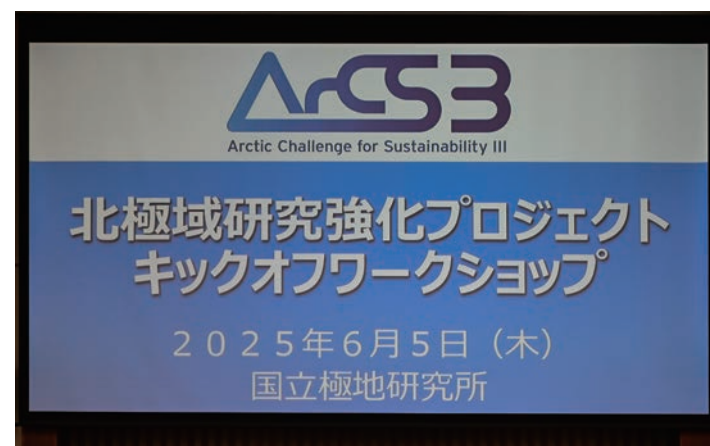
6月5日、国立極地研究所において研究者向けキックオフがメディアに公開された。

地球温暖化の影響が最も顕著に現れる北極域を研究することで見てくることは何か。

このプロジェクトのゴールは

「北極域の環境と社会の変化に起因する社会的課題の解決に向けた総合知の創出」だ。

今プロジェクトの代表機関は、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所。立川にある「極地研」だ。副代表機関は、国立研究開発法人 海洋研究開発機構、JAMSTECと言った方がわかりやすい。副代表機関にはもう1つ、国立大学法人 北海道大学。日本の北極域研究プロジェクトは2011年～2015年度に北極温暖化の増幅メカニズムとその全球への影響について科学的な理解を進展させ、日本における北極域研究コミュニティを構築したGRENE北極、次いで2015年～2019年度まで文理融合を開始し研究を進めたArCS、2020年～2024年度までArCS IIで文理融合を拡大して数々の成果を発表してきた。



今回ArCS IIIでは、課題となっている「北極域の環境と社会の持続可能性に関する、社会的課題の解決を意識した分野横断型研究への発展」及び「北極域環境の実態把握(観測空白域の解消)と、それに基づく予測信頼性の向上」に向けて取り組む。具体的には、エアロゾル課題、温室効果ガス課題、気候災害課題、生物多様性課題であったり、また別の観点からは北極海の保全と利用課題、陸域人間圏課題、沿岸コミュニティ課題であったり。この辺りは世界の情勢が気になるところだ。また文理融合の拡大により、歴史課題や先住民課題、ガバナンス課題など北極域社会の複合的理解が進むものと期待される。

観測インフラとして、衛星や新しい観測船(砕氷船)みらいIIが使われ、ゴールに近づく頃には、北極域研究・北極域政策において日本が国際的な使命を果たすことへの貢献ができる、と結んでいた。いずれ一般人にもわかりやすい発表があることだろうが、あちらこちらで一触即発の時代、無事にプロジェクトが進むことを願うばかりだ。

※GRENEについてはえてびあん2015年12月号をご覧ください

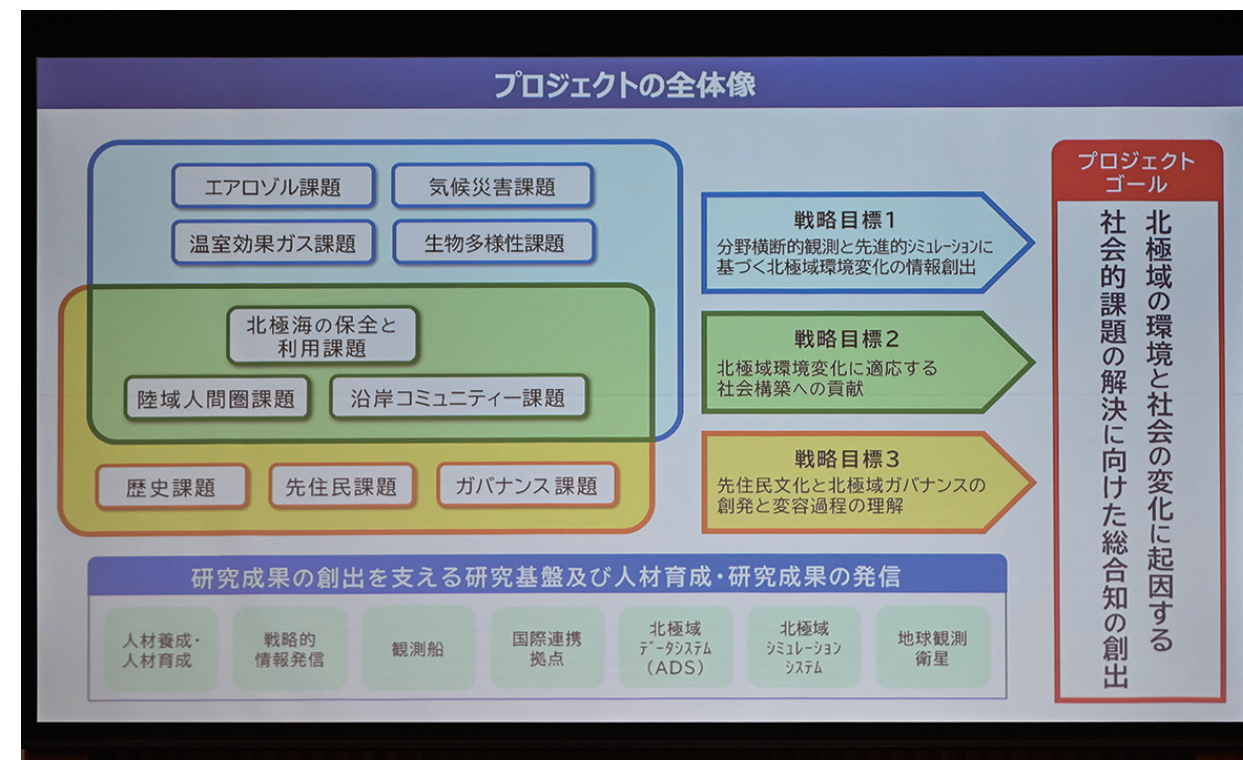
<https://tamatebakonet.fgarden-s.com/files/user/ecoutezbien/ecoutezbien1512.pdf>

※北極域研究強化プロジェクトについてはこちらをご覧ください

<https://www.nipr.ac.jp/aerc/topics/20250405ArCS-3.pdf>



プロジェクトの全体像



キックオフの様子 会場で参加している人よりも多くがネット上で参加



えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 柴崎町・富士見町 のお店です。	
柴崎町	南武堂剣道具店……………527-0197
	ビジネスホテル 小沢屋……………523-0388
	トーク・スペース……………527-1636
	Sweeney dog……………090-6017-8211
	すがの歯科……………540-2675
	あすなるクリニック……………529-2756
	入船茶屋……………524-6266
	串揚げ割烹 トントン……………524-4521
	不動産 コマツホーム……………525-5811
	かみゆい処 わ……………522-8202
	ホテル ほまれ……………523-0588
	ヘアサロン オオスキ……………528-0809
	中国四川料理 山城……………512-8356
	酒歩 たから……………528-1510
	リサイクル着物 着楽堂……………523-9702
	天婦羅・うなぎ 良銀……………522-6702
	ギャラリー きらら……………522-3913
	生活雑貨 EAST END……………523-9636
	特むし銘茶・海苔 菊川園……………526-2035
	ジョイフルプラザ……………529-2772
	めん心 堤屋……………525-6602
	立川わかば整骨院……………526-8518
	中華小皿料理 得得屋……………528-1060
富士見町	石原薬局……………523-4067
	サイクルハウス 輪輪館……………522-8100
	(株) 正盛堂……………522-2328
	小林歯科クリニック……………527-8217
	ビューティーサロン ウィスタリア……………527-1116
	オリオン書房 サザン店……………525-3111
	西武信用金庫 立川南口支店……………529-1311
	多摩信用金庫 南口支店……………528-2211
	リオネットセンター立川……………523-3321
	りそな銀行 立川支店……………522-4161
	立川献血ルーム……………527-1140
	ほっとすべす 中屋……………522-2932
	立川ワシントンホテル……………548-3380
	Coffee Shop LARGO……………525-6704
	のーかる・パザール……………548-2511
	ジバー・カフェ……………548-2511
	BAKU BAKU……………527-2721
	喫茶 ギャラリー花……………524-3668
	髪職人 YOSHIZAWA……………522-5593
	矢沢歯科……………525-6600
	キッチンコート立川店……………540-1131
	LaLaLa……………090-2564-3198
	酒 醍醐……………522-4926
	スープ・カフェ なんでもない日……………523-5114
	武本測量 (株)……………524-7731
	(株) 浅見酒店……………522-2823
	西村歯科クリニック……………519-9501
	井上レディースクリニック……………529-0111
	中華レストラン 中華園……………529-0458
	有料老人ホーム サンビナス立川……………527-8866
	うさぎ専門店 ラッキーラビット……………524-6054
	びーびー K 70……………525-3623
	(株) ホームー……………522-2220
	カフェ・貸しホール ぱくだん畑……………522-2214
	トロピカル・ジーナ……………512-7210
	波多野書店……………522-2884
	立川市社会福祉協議会……………529-8323



真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
 スマホアプリ「スカパー！番組表」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

立川の夏！あけぼの夏まつり

あけぼの夏まつりが、サンサンロードを会場に行われます。日時は8月2日と3日。暑い盛りではありますが、14時から17時ころまでステージで各種パフォーマンスが行われ、お祭りに欠かせない模擬店も。夕方18時からは盆踊り。道行く人も飛び入り参加できる楽しいイベントです。8月の最初の土日は、立川駅北口、サンサンロードにお出かけしてみると楽しいですよ。
(写真は昨年の様子)

盆踊りの様子

ステージガーデン ロビーコンサート

2020年6月19日に第一回開催の立川ステージガーデンロビーコンサート。感染症の影響で、2021年1月25日を最後にお休みしていましたが、この度、6月3日に4年半ぶりの開催。雨の降る中、多くのお客様が立ち寄ってください、盛会となりました。無料で美しい音色を聴くことができる、まさに音楽のある街、立川らしい風景ですね。

夏は五感で楽しもう



過去のたちフェスの様子（立川ステージガーデン）

ビーチバレーボール選手のクリーンアップ

6月27日～29日、ジャパンビーチバレーボールツアー第4戦立川立飛大会が開催されました。27日に日本ビーチバレーボール選手会主催のクリーンアップが行われ、立飛駅から北は応現院正面の横断歩道でUターン、南は高松駅の手前丁字路で横断歩道を渡ってUターン、選手の皆さんがゴミを拾って歩きました。暑い中、蚊に刺されながらお疲れさまでした。パリ五輪日本代表など有名な選手が掃除するというレアな光景でした。



立飛駅で二手に分かれて掃除、自動販売機周辺はゴミがたくさん
中央分離帯のゴミは車窓からのポイ捨て？

掲載しきれなかった写真や動画、
詳しい内容はQRコードからどうぞ



立川アスレティックFC 男女同日開催

6月28日、アリーナ立川立飛で立川アスレティックFC男女同日開催。女子はVSフウガドルすみだ。3節のこの試合、勝てば3連勝。なかなか1点が決まらない中、#11松木里緒が1点目を決め、抱き合って喜んで、また走る、また蹴る。すばらしい動きの中、#18平井成美が2点目を。2-0で勝利した元気で明るい試合の様子はえくてびあんnoteからご覧ください。続いて男子。VSシュライカー大阪。3-2で、こちらも勝利。#36湯浅拓斗が1点目を、大阪に2点取られて逆転される中、#4青大祐が同点ゴール。残り時間が少なくなる中、#45横山巧が逆転ゴール。大阪はゴールキーパーも攻撃に参加するパワープレーで攻めるも、立川が守り抜いて、勝利を掴みました。勝ちを積み重ねて、念願の「日本一」へ！



平井成美のシュートでダメ押しの2点目が決まった



2-2同点から横山巧が逆転勝利のゴールを決めた

「ドーバーばばあ」映画上映！

前作『ドーバーばばあ 織姫たちの挑戦』公開は2011年。メンバーそれぞれの人生にもいろいろな困難があり、また世界中を不安に陥れたコロナ禍。困難を乗り越えて、新旧メンバーが1つになって再びドーバー海峡を横断リレーするまでの13年間の記録。立川ってすごい、立川って素晴らしい。タイトなスケジュールですが、ご都合のつく方はぜひ！スケジュールなどについては、随時更新されているので公式サイトをご覧ください。
https://duckduckgoose.jp/dbb2-tsunagu



公式サイト



予告動画



2023年、ドーバー海峡横断に挑戦したメンバー



星つなぎ & share A month 楽しいマルシェでした

6月27日と28日、冷房の効いたシネマツー1階で、「星つなぎマルシェxshare A month」が開催されました。冷房の中でのマルシェは快適で、一定金額以上購入するとドリンクが1杯無料になるサービスも。なかなか立川では出会えない品物や、立川の隠れた作家さんの作品など、また10分千円のマッサージ体験も人気で、会場は賑わっていました。早々に完売するブースや、今まで参加したマルシェの中で一番の売上げだったという出展者も。また次回も計画中だそうです。



共同主催の山本優さん（左）と大和田瞳さん



各ブースの様子

表紙

立川で三代 岩下光明さんご家族 （曙町）

2016年3月号に親子三代でご登場いただいた岩下家。約10年経って、次の世代の三代です。10年経っても、全然お変わらない奥様とお嬢様。「岩下家は女系なんですね」と10年前にも申しましたが、今回も同じことを言いながらの撮影でした。今号の1ページ、ジバーカフェは岩下光明さんのお店です。柴崎町三丁目交差点の南側角にあるコトリンク1階で、「のーかるパザール」と「ジバーカフェ」を経営しています。ジバーカフェのメニューにもありますが、「コラボ」が岩下さんの目指すところ。みんなで立川を盛り上げたい。みんなで立川南方面を活性化させたい。立川のために常に心を砕き、思いを巡らして頑張っていらっしやいます。

かたこと

◆夏は暑いものと知っていますが、「猛暑」「酷暑」が連日となると身も心も疲れます。昭和の時代までは「打ち水」なるものがありました。この節はまさに「焼け石に水」。例年より早い梅雨明けも水不足が心配です◆夏にはひんやり水がいい。でも、なかなか立川の人は水と戯れる機会がない。立川ステージガーデンのカスケードに子どもが多く集まるのも納得です。表紙モデルの岩下さんは、株式会社まちづくり立川の社長です。いろいろな事業を手がける中で「なんとか多摩川や根川流域を街の活性化につなげられないかな」とおっしゃっていました◆昨年は立飛さんが100周年、来年は国立音楽大学が100周年。もっとも、立川市立第一小学校は明治3年の開校ですから、立川の歴史は長い◆「ドーバーばばあ」健在です！50代後半から60代の女性たちがドーバー海峡横断に挑んだ姿を追った前作『ドーバーばばあ 織姫たちの挑戦』から13年。さらに高齢化したメンバーに若い人も加わって再びのドーバー海峡挑戦。いやいや、立川ってすごいです。予告編だけでもご覧ください。 えくてびあんスタッフ一同



リニューアルした多摩てばこネット
ご覧ください

えくてびあん ⑧

8月号 第42巻 通巻485号

令和7年8月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・編集 えくてびあん編集スタッフ
写真 五来孝平 池田まり
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

ミスコン



立川でもミスコンテストをやっていた時期がある。その間の何年分かの写真がえくてびあんにも残っている。諏訪通り商店街には、かつてのミス立川がいらして、初めてお目にかかった時は「なるほど!」と思ったものだ。

写真は立川市制50年、よき年のミス立川コンテスト。1940年12月1日に市制施行されたのだから、50周年は1990年。7月28日、フロム中武屋上を会場にコンテストが開催され、38名のお嬢さんが登場。7名の審査員により10名に選ばれ、そこからミス立川、準ミス立川が選ばれた。前年度のミスが見守る中、表彰式が行われた、そんな様子の写真。

しかし、なぜこの時代にモノクロだったのだらうと、現編集部は思うのだ。

